

第 89 回 火力専門委員会 材料分科会 議事録

I. 日 時: 2018 年 5 月 9 日 (水) 13 時 30 分～16 時 30 分

II. 場 所: 日本機械学会 第 4・5 会議室

III. 出席者: 伊藤 (IHI)、西川(NIMS)、吉田 (東電 FP)、俣野 (KHI)、菊原 (MHPS 呉)、
森 (新日鐵住金)、長谷川委員 (発電技検)、芝 (関電)

オブザーバー: 鯉江 (中部電力)

欠席 : なし

事務局: 原

IV. 配付資料

89-1 第 88 回材料分科会議事録 (案)

89-2 材料分科会委員名簿

89-3 第83回火力専門委員会議事録 (案)

89-4 第38回材料専門委員会議事録 (案)

89-5 第85回発電用設備規格委員会議事録 (案)

89-6 発電用火力設備規格 2017年追補、事例規格 JESC本委員会審議結果報告

89-7 発電用火力設備 2017年追補、事例規格の発行

89-8 火専書面投票No.73意見対応結果報告 (前回分科会以降)

89-9 火力専門委員会書面投票No.74 (詳細規定201X年版第Ⅵ章 非破壊検査) 結果報告

89-10 火専書面投票No.73の意見対応による修正案の書面投票対応

89-11 規格委員会の書面投票提案資料 (第Ⅱ章材料改訂提案) …欠番

89-12 審議履歴表

89-13 Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことへの対応

V. 議 事

1. 前回議事録確認

【資料 89-1】

前回議事録 (案) について確認を行ない、議事録案は承認された。

2. 分科会委員・役員の承認

【資料 89-2】

長谷川委員 (中部電力) の退任が報告された。新任委員候補として鯉江氏 (中部電力)、
再任委員候補として伊藤委員 (主査)、俣野委員、森委員が、新任/再任候補を除く出席委員
全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。

3. 報告事項

(1) 火力専門委員会報告

【資料 89-3】

2 月 21 日開催の第 83 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

○ 第 88 回材料分科会 (1/25) 報告

- ・ 第 37 回材料専門委員会 (11/21) 報告
- ・ 火力専門委員会書面投票結果報告
- ・ 書面投票意見対応案の審議

○審議結果報告

- ・発電用火力設備規格 201X 年版第Ⅱ章材料の書面投票 No.73 の投票意見と対応案について、意見対応状況を説明した。
- ・発電用火力設備規格 201X 年版第Ⅵ章非破壊検査の改訂提案と書面投票実施の承認。

(2) 材料専門委員会報告

【資料 89-4】

2 月 20 日開催の第 38 回材料専門委員会の主要項目が報告された。

- 各分科会の報告
- 金属キャスク特有材料に関する検討状況
- 改良 9Cr 鋼および 316FR 鋼の時間依存型許容値の最大 50 万時間への延長について

(3) 発電用設備規格委員会報告

【資料 89-5】

3 月 7 日開催の第 85 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会(2/21)の報告
- 火力関係の規格の審議は無し。

(4) 発電用火力設備規格(2017 追補、事例規格)の JESC 本委員会審議結果報告【資料 89-6】

3 月 6 日（火）に開催された JESC 本委員会における、発電用火力設備規格（2017 年追補、事例規格）の審議結果が報告された。

- 発電用火力設備基本規定 2017 年追補が発電用火力設備の技術基準に適合していることが承認された。
- これを受けて、3 月 30 日に、日本電気技術規格委員会（JESC）から経済産業省に発電用火力設備基本規定 2017 年追補の引用要請が提出された。

(5) 発電用火力設備規格 2017 年追補、事例規格の発行

【資料 89-7】

事務局から、発電用火力設備規格 2017 年追補と事例規格が、5 月 10 日に発行予定であることが報告された。

(6) 火専書面投票 No.73 意見対応結果報告（前回分科会以降）

【資料 89-8】

伊藤主査から、前回分科会以降の書面投票の意見対応状況と意見対応が 3 月 27 日に完了したことが報告された。

(7) 火専書面投票 No.74（第Ⅵ章非破壊検査）投票結果報告

【資料 89-9】

発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 第Ⅵ章 非破壊検査の改訂案の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2/3 以上あり、反対票がなかったため可決となった。現在、意見対応中であることが事務局より報告された。

(8) Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことへの対応 【資料 89-13】

事務局から、Microsoft 数式エディタ 3.0 が Office から削除されたことの影響とその対応について説明があった。

4.審議事項

(1)書面投票の意見対応を反映した修正案

【資料 89-10】

書面投票の意見対応を反映した修正案の確認を行った。コメント等は以下のとおり。

<改訂内容総括表>

○添付1 (1/5)のタイトル

- ・許容引張応力表 → 許容応力表（他の表に合わせる。）

○添付2-4 (2/2)

- ・Notes 欄の誤記修正が隠れているので、修正する。

○添付2-10(1/1)

- ・A-320 L7M の修正内容欄に、「454℃誤記修正」を追記する。

<表Ⅱ-1-1>

○許容応力表 41/42 ASTM A694 の年版修正

- ・意見 No.112 反映であることを追記する。

○備考 ap) （他の同様の箇所の表現にあわせて）

- ・ボイラのケーシング又はレンガ壁の内側になる →
ボイラのケーシング又はレンガ壁内の

○備考 19 二

- ・修正内容： 誤記修正 → 表現の見直し
- ・「又は」と「及び」について、今回全体の統一はしないことを確認した。

<表Ⅱ-1-2>

○意見 No.2 反映の吹出し

- ・見えなくなっている箇所があるので、修正する。

<表Ⅱ-1-3>

○許容応力表のタイトル

- ・許容応力表のタイトルが、表の右側のページにもついているが、他に合わせて左側の表のみとする。

<表Ⅱ-1-4>

なし。

<表Ⅱ-2-1>

なし。

<表Ⅱ-2-2>

○許容応力表 4/12

- 左端の罫線が無いところがあるので、修正する。

<表Ⅱ-2-3>

- 許容応力表のタイトル
 - ・許容応力表のタイトルが、表の右側のページにもついているが、他に合わせて左側の表のみとする。
- 備考のタイトル
 - ・非鉄鋼材料 → 非鉄材料

<表Ⅱ-3-1,2,3>

- 表Ⅱ-3-2 備考 一般注釈 (a)
 - 「、」 → 「,」

<JIS 年版変更評価検討票>

- JIS の改訂前も「鉄」で良いか確認する。

<物理的性質>

- TM-1 備考(5)
 - 意見 No.106 の意見対応を反映する。

<その他：全般>

- 材料事象の解説について
 - 現在、改訂案が規格委員会の書面投票が終了し、意見対応中である。現改訂案では、材料事象の解説の 2014 年が引用されておりこれで問題ないと想定できるが、改訂版の改訂内容を制定後に確認する。

■今後の進め方の確認

- (1)書面投票の意見対応を反映した修正案を、本日の審議・コメント等を反映し、主に吉田幹事が修正する。物理的性質の見直しなど、必要に応じて他委員も対応する。
- (2)見直した修正案を各委員が確認する。スケジュールは分科会三役が別途連絡する。
- (3)修正案の各委員の確認が完了したのち、本修正案についての火力専門委員会の 1 ヶ月の書面投票を実施する。
- (4)規格委員会への改訂提案は、9 月 20 日の規格委員会とする。8 月 24 日の次回分科会で規格委員会へ提案する資料を確認する。提案資料の準備は、修正案の火力専門委員会書面投票可決後、分科会三役が依頼する。

VI. 次回開催予定

日 時 : 2018 年 8 月 24 日 (金) 13:30~17:00
場 所 : 日本機械学会 第 3・4 会議室

以 上